

# きよせ

# 市議会だより

平成29年(2017年)

5月15日

No.213

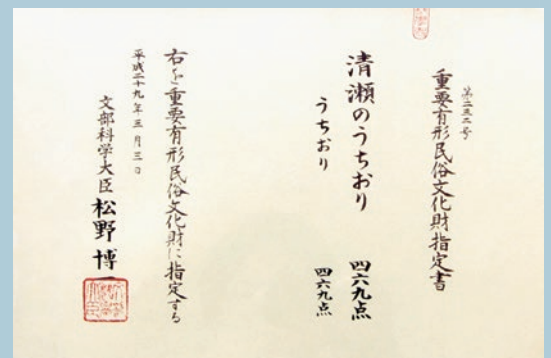


発行 清瀬市議会  
清瀬市中里5-842  
TEL (042) 492-5111 (代) FAX (042) 495-1189  
清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>

## CONTENTS

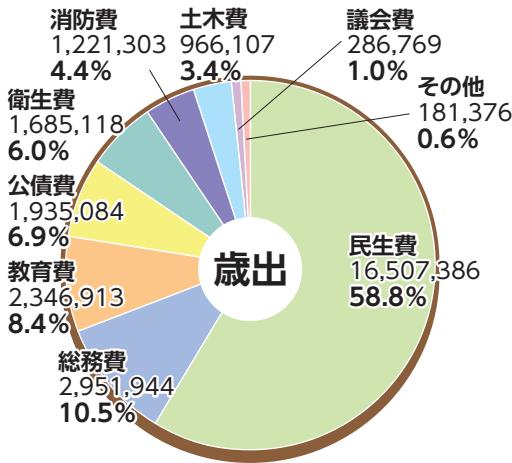
- 02…平成29年第1回定例会  
一般会計予算
- 03…平成29年度一般会計予算討論要旨
- 04…「市政を問う」代表・一般質問(要旨)
- 14…可決・承認等した主な議案
- 15…提出された議案等の結果
- 16…市議会日誌、第2回定例会の開会予定

重要有形民俗文化財に指定された  
「清瀬のうちおり」

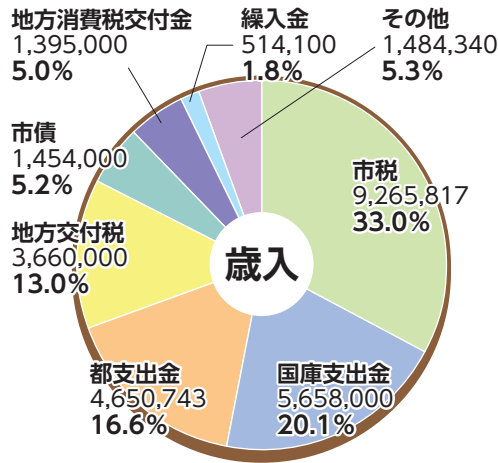




# 一般会計歳入歳出予算構成表 (単位：千円)



歳出総額 28,082,000 千円



歳入総額 28,082,000 千円

平成29年  
第1回会  
定例

賛成多数で

平成29年度一般会計予算



平成29年度一般会計予算は、歳入歳出の総額をそれぞれ280億8千200万円（前年度比で1億5千500万円、0.5%の減）としています。

歳入では、市税のうち法人市民税、固定資産税の家屋（新築分）による増加は見込まれるものの、歳出では、障害者自立支援給付費や待機児童解消に向けた保育園運営費など社会保障関係経費や物件費、維持補修費などの増加により、財政調整基金からの繰り入れによる対応を行います。

新年度予算では、第4次清瀬市長期総合計画及び地方創生の総合戦略を踏まえて、**子育て世代への支**



平成29年清瀬市議会第1回定例会は、2月28日（火）から3月28日（火）までの29日間の会期で開かれました。

今定例会では、平成29年度清瀬市一般会計予算及び国民健康保険事業、下水道事業、駐車場事業、介護保険、後期高齢者医療の各特別会計予算などの市長提出議案21件、議員提出議案7件、報告1件、請願1件、陳情4件の審議を行いました。

なお、一般会計予算については、定例会初日に予算特別委員会を設置し、正副議長を除く全議員を委員に選出、委員長に渋谷けいし議員、副委員長に斉藤あき子議員を選出しました。

各特別会計は、所管の常任委員会において審査され、定例会最終日に委員長の審査報告を受け採決を行った結果、いずれも可決されました。提出された議案等の審議結果は、15面に掲載しています。

市民の皆さんの健康寿命を延ばす取り組みとして、健康ポイント事業の対象年齢を30歳へ引き下げるなどの拡充、地域包括ケアシステムの構築に向けた第2層生活支援コーディネーターの配置や総合事業の実施による介護予防事業の充実を努めます。

**安全で安心なまちづくりの実現**に向けて、災害時の避難所となる小中学校に災害時特設公衆電話回線の整備、集中豪雨による冠水箇所への雨水浸透化整備、安全対策のため第六小南側の歩道拡幅整備（29年度は病院街通り―梅園乳児保育園間）、振り込め詐欺対策として、自動通話録音機貸与を実施します。

**教育の充実**では、小中学生の英語力向上を目指し、立科山荘でイングリッシュキャンプ事業を新たに実施、**シティブロモーション**では、プロモーション動画の制作、WiFi環境の整備（市役所・生涯学習センター等）を行います。

援策として、待機児童解消に向けた小規模保育所3園の開設による定員増、低所得者世帯の第2子以降への保育料無償化、妊娠期から子育て期の切れ目ない支援を行うニューボラ事業、病時保育室での送迎サービス、産後うつ対策の実施に加え、保育士確保対策として、新たに私立保育園の職員用宿舍借り上げ支援を実施します。



# 平成29年度

# 一般会計 予算討論 要旨



## 賛成討論 清瀬自民クラブ

平成29年度予算歳入歳出予算の総額はそれぞれ280億8千200万円となっております。前年度との比較では額で1億5千500万円、率で0・5%の減となっております。

この様な中、第4次清瀬市長期総合計画及び地方創生総合戦略を踏まえ、待機児童解消に向けた小規模保育所3園の開設による定員増を初め、低所得者世帯の第2子以降の保育料を無償化、妊娠期

から子育て期にわたる切れ目の無い支援を行うノウボラ事業を実施し、健康寿命を延ばす取り組みとして、健康ポイント事業を拡充して実施するほか、安全安心なまちづくりの実現に向けて災害時特設公衆電話回線の整備や冠水箇所の雨水対策を実施するほか、公共施設へのWiFi環境の整備などシティブロモーションの推進にも取り組み、清瀬の個性を生かしたメリハリのある積極的な予算に賛成します。

## 賛成討論 公明党

平成29年度清瀬市一般会計予算に公明党を代表し、賛成の立場から討論致します。

市財政は依然として厳しい状況下であります。清瀬市の現状を踏まえ「第4次清瀬市長期総合計画・実行計画」を着実に実施し、財政健全化への着実な取り組みを進める一方、予算編成基本方針に沿って、重要な政策課題について、必要な予算措置を講ずるなど、創

意工夫が感じられるメリハリの効いた予算編成に、高い評価を致します。

各まちづくりのセクシヨンの新規事業や既存事業の拡充にも高い評価を致します。ワイズスペンディングの考え方に立ち、「公共サービスの産業化」、「インセンティブ改革」、「公共サービスのイノベーション」という3つの取り組みを中心に推進し、歳出改革やPDCAサイクルの実効性を高めることを求め賛成討論と致します。

## 反対討論 日本共産党

安倍政権のアベノミクスによる物価上昇や社会保障の切り捨てなどの負担増が貧困と格差を広げています。このような中

おむつ給付助成の廃止や学校用務員の民間委託が示されましたが、これらは市民への負担増と職員削減への行革であり容認できません。

2017年度予算は、子育て支援策の拡充や新児童館建設への市民要望は一定反映されましたが、一方で国保税の値上げ、公共施設などの使用料・手数料の値上げ、ゴミ袋の値上げや第6保育園の廃園も打ち出しました。

市財政は、渋谷市政になり新庁舎建設への公共施設整備基金が6年間で5倍にも及び25億円にもなっています。国も財源措置を示しているなかこれ以上の新庁舎建設のための積み立ては必要ありません。

また、介護度1、2の

暮らし優先の市政運営に改めるべきです。

## 反対討論 共に生きる

2017年度は概ね適正な予算がたてられたと判断致しますが、市民生活に直結する喫緊の課題として検討を要する項目については努力不足と考

え反対します。4月から公的年金や医療、子育てなどの分野で保険料の値上げや給付の引き下げが実施され、市民生活は厳しい春となりました。特に高齢者にとっては、年金額は物価の下落に併せ、0・1%下

がりません。後期高齢者医療では、保険料がアップする人もいます。市行政として「国民健康保険税を軽減する」、「介護保険料を助成する」など検討されるべきです。

「民間で出来ることは民間に」という民間委託への流れが促進されているのは要注意です。保育園、放課後補習などの民間委託は果たして教育的と言えるかどうか。公教育の役割を原点にかえって考えるべき時なのではないでしょうか。

## 賛成討論 風・生活者ネット

新年度実施される行政評価や補助金検討は、市民参加での調査・検討・討議を保障する資料や体制整備を求める。今後も情報公表範囲の拡大や次世代の負担軽減のための基金積立も必要だ。

事業では、就学援助入学金準備金の前倒し支給、南口地域児童センターの検討、ノウボラ、家族まると支援など評価する。ただし、以下要望する。庁舎の配置計画は市民サービス第を守るべきだ。

事業では、就学援助入学金準備金の前倒し支給、南口地域児童センターの検討、ノウボラ、家族まると支援など評価する。ただし、以下要望する。庁舎の配置計画は市民サービス第を守るべきだ。

事業では、就学援助入学金準備金の前倒し支給、南口地域児童センターの検討、ノウボラ、家族まると支援など評価する。ただし、以下要望する。庁舎の配置計画は市民サービス第を守るべきだ。



# 市政を問う



## 代表・一般質問 要旨

代表質問：各会派の代表が、市長の所信表明に対し代表質問を行う。あわせて一般質問も行うことができる。  
一般質問：議長を除く議員が行政全般にわたり、事務の執行状況、方針等に対し質問することができる。



公明党 代表質問

西畑 春政

### これからの街づくりについて

柴田准教授の研究・分析の結果、特に効果が大きなのが「保育サービス」で、保育拡充政策により、数年

後から労働生産性成長率や経済成長率も増え、子どもの貧困率は減り、合計特殊出生率も上がると言われています。数年前から保育サービスに力を入れてきました。変化の兆しや今後の保育サービスの拡充を伺います。

**市長** 待機児童対策として小規模保育所を新たに3園、新設の私立保育園を整備します。また病児保育送迎サービスやネウボラの実施等、さらに子育てが楽しい清瀬を目指します。また子どもの貧困対策として、入学準備金の先行支給、低所得世帯の第2子以降の保育料を無料にします。

### 介護支援について

03年から介護予防や重度化予防に積極的に取り組む埼玉県和光市では、



要介護認定者の割合が全国平均よりも約9ポイント低く、カギを握るのが「自立支援型」ケアと言われています。本市の要介護認定者の割合と現状を伺います。

**高齢福祉担当部長** 本市における要介護認定率は18.3%となっており、ほぼ全国平均の数字となっております。今後、制度改正が予定される中、和光市方式の研究を図り、運用面での参考としたいと考えています。

### \*SDGsに関する学習について

「人間の安全保障」その理念に立脚した持続可能な開発目標2030アジェンダがスタートして1年、「誰一人取り残さない」との理念は、広く刻んでほしい重要な考え方です。

学習指導要領に基づいて、SDGsに関する学習を進めていただきたい。**教育部参事** 新しい学習指導要領案は、子どもたちが社会や世界に向き合い、関わり合い、自らの人生を切り拓くために求められる資質能力を教育課程において明確化し、育んでいくことが掲げられています。SDGsの趣旨を生かしながら、学校教育を進めていきたいと思えます。

\*印は、16ページに用語の解説があります。



風・生活者ネット 代表質問

小西 みか

### 家族まるごと支援で様々なダブルケアへの対応を

赤ちゃんから高齢者までをまるごと見る多世代型地域包括ケアの実現により、ひとつの家族に同時並行的多世代的に横たわる様々な福祉ニーズへの対応を可能にする。様々なケースの対応を期待するがどうか。

**高齢福祉担当部長** 地域包括支援センターや子ども家庭支援センター、社会福祉協議会などの連携を強化します。またNPO法人等にも子育て分野の実績を活かし、家族まるごと支援事業を取り組んでいただけるように調整し、多世代型地域包括ケアに努めたいと考えています。



### 一人ひとりに寄り添い社会的経験もできる支援に

生活困窮者自立促進支援事業の学習支援では、夏休みのキャンプ等も体験できる内容を目指してほしい。今年度の対象や参加人数、継続の状況、来年度の進め方について伺う。

**健康福祉部長** 学習支援事業は、小学5年生から中学3年生までが対象です。まず生活保護世帯から希望者を募り、就学援助を受けている世帯にも説明会を開催し、現在46人を支援しています。やめた方もいません。課題については分析をして次年度に活かしたいと考えています。

### 化学物質の影響を減らすための総合的取り組みを

現在の暮らしの中には多くの化学物質が入り込んでいて、一方、人体に与える影響は大きく、特に子どもに増加しているアレルギーやぜんそく、先天異常など、その影響が懸念され国も調査を実施している。また、最近では香害や化学物質過敏症に悩む人も増えている。都の化学物質の子どもガイドラインなど多くの規制があるものの、1億種をこえる現状から追い付いていない。予防原則に基づき、本市として総合的に対応していく必要があると考えています。

**都市整備部長** 本市としても、化学物質に関しては、国の示している指針や法令の遵守により、正しい理解のもと使用することが望ましいと考えています。今後の対応についても、環境省の室内空気汚染のガイドライン等を参考に対応していきます。



清瀬自民クラブ 代表質問

斉藤 正彦

### 「都市格の高い」街について

清瀬市にしかない宝物に光が当たること、「都市格」もどんどん高まり、そこには多くの市民や様々な団体と職員が協働・連携し、各種補助金・健康保険税の見直し検討など、受益者負担や民間活力を導入する中、有効的な行政改革を進め、財源確保を図る施策について見解を伺う。

**企画部長** 行政評価制度を活用した事務事業の見直しや、各種業務への民間活力の導入に向けた検討など行政改革に努めていきます。今後も、歳入歳出の両輪で財源を確保し、様々な主体との連携協働やシニアプロモーションを推進し、清瀬市の都市格を高めたいと考えています。

### 女性を農業の主役に「農業女子」育成について

近年、「農業女子」の活躍がマスコミや紙面で多く取り上げられるようになり、その背景の一つに農業生産者が単に原材料生産供給する一時産業から加工・販売・飲食等、消費者のニーズに対応しながら、所得向上・女性能力活用を図ると言います。本

市の女子力育成を伺う。  
**市民生活部長** 最近では農業に従事する女性も増えたようで、細かい作業や出荷調整など、重要な役割を女性が担っています。JAにおいて女性部もあるので、女性の力を活用しさらに生産性向上につなげられるか、相談していきたいと思えます。

### 育児と介護のダブルケアについて

子育ては子どもが小さい間は目が離せないから大変です。認知症や寝たきり等のお年寄りを介護するのも心身に負担が大きいといい、育児と介護が同じ時期に重なった時、苦労は計り知れない。そんなダブルケアに直面している人について、本市の実情を伺う。

**高齢福祉担当部長** 今後、急速に進展する高齢社会を踏まえ、育児と介護のダブルケアなどのご家族は増えてくるのが予想されます。ショートステイやデイサービスを上手に利用していただくことが重要で、レスパイトケアの仕組みづくりも検討したいと考えています。



\*印は、16ページに用語の解説があります。





日本共産党 代表質問

## 原田ひろみ

### 新年度予算案 負担増やめ、くらし応援を

景気低迷が続き、貯蓄ゼロ世帯が3割など貧困の広がりは深刻です。

新年度予算案では子育ての負担軽減が拡充されるものの、国の悪政が集中する高齢者への支援は不十分です。市役所建替えへの基金積立てが増える一方、国保税や公共施設使用料などの値上げや第6保育園廃園は福祉増進の自治体の役割に逆行します。くらし応援策の充実を求めます。

**市長** 本市の財政は、依然として厳しい状況になっています。そうした中、さまざまな場所に出かけて、多くの市民の皆さんの声をお聞きし、市民の皆さんの暮らしの実態に目を向け、健康や福祉の向上につながる予算編成ができたと考えています。

### 全国に広がる子どもの 実態調査清瀬市でも実施を

「新しい服が買えない」「など見えにくい貧困が、各地の実態調査で明らかになりつつあります。経済的な困窮が家族団らんなど当たり前の経験や



自己肯定感を奪うなど深刻です。

専門委員会を立ち上げ、実態調査と貧困対策の具体化を急ぐべきです。  
**子ども家庭部長** 本市で実態調査を行う場合は、都内での比較ができるように東京都の調査項目を参考に実施し、また本市単独ではなく広域行政圏で実施できればと考えています。専門委員会の設置や委員の選定は、貧困問題に関連する各部署と連携し、協議したいと考えています。

### マイナンバー 事業所への提供の中止を

総務省は、自治体が事業所に出す市民税など特別徴収税額の決定通知書に、マイナンバー記載を勧めています。しかし漏えいのリスクや本人がナンバー提示を拒否している場合もあり、問題です。税徴収に必要な事業所への提供は中止すべきです。

**市民生活部長** 平成29年度の特別徴収税額の決定通知書のマイナンバーの記載については、当面の間、漏洩の危険性や事業所に対する配慮として、マイナンバーの下4桁を残し、アスタリスク(\*)で表記します。今後は状況の変化を注視しながら、適切に対応したいと考えています。



公明党 一般質問

## 西上ただし

### 読書活動の推進で 心豊かなまちづくりを

家庭における読書活動は、家庭内でのコミュニケーション復活の一助になると考える。いじめ、虐待、不登校等の解消に向け、家読を進めてはどうか。横浜市は読書条例を制定し、心豊かな生活と活力ある社会の実現を進めている。家庭における読書活動の条文では「本の感想を話し合うなど読書の楽しさを共有することにより、読書活動がより身近に感じられるよう努めるものとする。」と定義する。条例を定め、家読など読書活動の推進を提案する。



**教育部長** 読書は、家庭における大変有用なコミュニケーションツールです。図書館では、ブックスタート事業等で家庭での読み聞かせや読書の大切さをPRしています。読書条例については、策定した第2次教育総合計画マスタープラン等を進めながら検証したいと考えています。

### 良好な住環境を進め 子育て世帯の受け入れを

都は子育て世帯向け優良住宅の促進のため、子育て支援住宅認定制度を定め施策展開を図っている。自治体が必要を定めることが補助金の必要条件となる。要綱を定め、良好な住環境整備で、子育て世帯の受け入れを増やす取り組みを進めてほしい。  
**子ども家庭部長** 東京都子育て支援住宅認定制度の活用により、子育てに適した住環境が整備されることで、本市の魅力となっており、子育て世帯の流入が期待される所です。今後、その効果等を注視していきたいと考えています。

### 子育て支援住宅建設を 促進するまちづくりを

都市計画道路の建設が進んでいる。用途変更を進める等、子育て支援住宅立地に向けた整備について見解を伺う。

**子ども家庭部長** 子育て支援住宅の整備を促進するための用途地域変更については、都市計画道路東村山3・4・15の2号線整備に伴い、順次地区計画を策定していく中で、行っていく予定となっています。地域の皆さんのご意見を伺いながら検討したいと考えています。



公明党 一般質問

## 斉藤あき子

### 就学援助制度前倒しと増額 改定の対応について

子どもの貧困率の高まりにつれ、

就学援助制度の対象となる児童・生徒が増えています。就学支援の必要な家庭にとって大切な制度です。平成29年度より入学準備金の前倒し実施と伺っています。また、国の補助額の増額改定に伴う、新入学児童生徒学用品費の対応について伺います。



### 新生児聴覚検査に助成を

聴覚障害を早期に発見し、適切な支援を行うことで、コミュニケーションの形成や言語発達の向上につながります。新生児聴覚検査の推進体

制を整備する国の補助事業が新設されるにあたり、新生児聴覚検査に公費助成を実施すべきと思います。見解を伺います。

健康福祉部長 新生児聴覚検査の公費助成の導入は、財政的な支援もさることながら、地域の産科医や耳鼻咽喉科、また小児科医との連携、相談体制、療育体制等の仕組みの整備も重要と考えています。当面は近隣市の動向を注視し、公費助成の取り組みなど研究したいと考えています。

### 使用済み小型家電回収について

2020年東京オリリンピックのメダル作成に、不用になった携帯電話などに含まれる金属を活用する報道がありました。本市でも回収品目に携帯電話を加えること、回収ボックスをスーパーや電気量販店、大学など多くの人が集まる場所に増設することについて見解を伺います。

都市整備部長 都のメダルプロジェクトの協力については、携帯電話の回収も含め検討していきます。また、小型家電の回収ボックスの増設についても大型スーパーなどのご協力をお願いし、設置を検討していきます。



公明党 一般質問

## 鈴木たかし

### 駅前アミュービルに 健康センターを

新生児健診

など各種健診等が行われる健康センターですが、現状はあまり交通の便が良い所とは言えません。そこで新庁舎完成後の公共施設の再編の中で、市内どこからでも便の良い清瀬駅北口アミュービルへ機能移設してはいかがでしょうか。



企画部長 健康センターをアミュービルに移転することについては、駅前という立地から市民の利便性を高めることにつながると考えられます。

一方、市役所内にあるさまざまな組織との連携や、各種健診事業等を実施するための設備が必要となり課題も大きいと考えられます。

### 東京オリパラへ

### 『外国人観光客』戦略を

2020年東京オリパラへ向け、外

国人観光客（インバウンド）を清瀬市にも呼び込むため、近隣市と協力して「アニメゆかりの地」ツアーを企画してはいかがでしょうか。

### 『新体操の街・清瀬』 としてアピールを

2020年東京オリパラへ向け、これまで多くの新体操選手を輩出してきた「新体操の街・清瀬」として、元五輪選手にもご協力頂き、五輪醸成イベントを行ってはいかがでしょうか。

教育部長 機運醸成イベント等の実施は、対象選手やチームの存在が明確になることで、応援や激励等の市民の意識が高まると思います。オリリンピアンを輩出している本市として、どのような取り組みができるか、スポーツ関連団体等と相談しながら進めていきたいと考えています。



風・生活者ネット 一般質問

斉藤 実

### 「市内の大気環境」

コトコト

この時期の畑の土埃によるPM2.5や一時風評被害まで出たダイオキシン、福島原発による放射能汚染など、このところあまり話題にはのぼりませんが現状と、特に放射能については再度ホットスポットを調査し「安全宣言」を出さないか見解を伺います。

### 都市整備部長

ダイオキシン類の調査は市内2か所で年4回大気調査を行っています。マスコミ等で騒がれた時期から比べると、大気の汚染濃度は劇的に減少しています。また、空間放射線量は、現在市内1か所です。毎月測定し、測定開始当初より変動がない状況が続いています。

### 「水辺環境の整備」

コトコト

最近では夏季において「ゲリラ豪雨や台風などにより市内の複数箇所被害が出ていますが、現在、行われている空堀川の河川整備工事」と、清瀬橋周辺



の整備予定を伺います。

### 都市整備部長

空堀川の石田橋付近の工事は、1時間50ミリの降雨対策として、河床の整備を実施しています。今後の整備は、上流に向かって同様、河床掘削工事を進めていく予定です。また、清瀬橋付近を東京都が基盤整備を行い、本市が公園をつくる計画となっています。

### 「街の活性化」

コトコト

今までの「病院の街」やこの時期の「畑の土埃」などマイナスのイメージを「石田波郷俳句大会」や「ひまわりフェスティバル」などでプラスへの転換をはかり、市民にとって清瀬の魅力がつかさされてきています。先日行われた「結核医療の歴史展」の開催状況と、児童・生徒により理解を深めるため各学校において出張展示会を企画できないか伺います。

### 教育長

子どもたちは、本市が結核の根絶に世界的な貢献をしていることをよく知りません。展示物を、各学校に回して触れさせることは一定程度の効果はあると思いますが、まずは展示会等で、特設ブースが設置できないか研究していきます。



風・生活者ネット 一般質問

宮原 けんじ

### 市内の不登校の子どもたちの状況について

「学校に行かない」或いは「行く」とすると腹痛などの症状が出て行けない子どもたちの割合は全国的に増えている。文科省は、不登校は「誰にでも起こり得る」「問題行動と判断してはならない」「休養や自分を見つめなおす積極的な意味がある」とする。清瀬市内の不登校の子どもたちの状況を把握しているか。

### 教育部参事

平成28年12月末現在、不登校とされる欠席者は、小学校23名、中学校44名です。不登校の理由の7割は、不安や無気力という回答でした。過ごし方としては、フレンドルームや、フリースクールなどに通っています。

### 不登校の子どもたちの「学習権」の保障を

「学習権」の保障を



昨年12月「教育機会確保法」が成立した。フリースクール・中学校夜間学級・ホームエデュケーション等、学校外での多様な学びを応援する方針が示され、財政的支援も視野に入

れている。清瀬市として、受け皿・学びの機会の拡充を求める。

### 教育部参事

各学校では、学校に通えない状態になっている児童・生徒を切り離したりせずに働きかけを継続することを、最低限のことと認識しています。学校復帰が難しい状況の子どもには、別室での学習やフレンドルームの活用など本人、保護者と協議し、働きかけを進めています。

### オープンデータについて

公的機関などが保有するデータを、利活用しやすい形式で公開するオープンデータは、開かれた行政を目指し、官民協働の公共サービスの提供や市民協働型の地域の課題解決等の可能性がある。アイデアソン、ハッカソンといった取り組みも各地で進む。本市の取り組みと方針を伺う。

### 総務部長

本市の取り組みは、平成30年度の公開に向けて計画しています。2月には職員を対象に専門スタッフによりオープンデータの定義や目的について講義を実施しました。今後、データの利活用については、市民への周知などを含め研究したいと考えています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。





風・生活者ネット 一般質問

石川 秀樹

## 2035年の清瀬の姿

2035年には3人に1人が高齢者になると言われている。その頃の清瀬の人口と少子高齢化の状況がどうなっているのか、どのような行政課題がその頃生まれていると推測するか。

**企画部長** 2035年では、本市の人口が7万43人で、人口構成は年少人口が10・5%、生産年齢人口が59・3%、高齢者人口が30・2%と見込んでいます。行政課題については、高齢者の生きがいづくり、医療介護への対応など、高齢者支援策の需要が高まっていくことが考えられます。

## これからの公共施設のありかた

人口減少による財政のひっ迫と老朽化する公共施設の維持管理を考慮すると、行政側は施設の統廃合を考える。一方で高齢化が進むと住民は逆に身近な場所に公共施設の増設を望んでいる。こうした矛盾をどうやって解決していくべきか。

**企画部長** 少子化や高齢化の進行に伴い、公共施設に求められる機能も

変化してきます。市民が望む使いやすい公共施設を

目指していかなければなりません。施設の多機能化や他の目的への転

用など、限られた経営資源の中で持続的に市民サービスができるよう検討する必要があります。

## 社会的入院から地域生活へ

精神科に長期入院している人の多くは社会的入院であり、地域生活を送ることができれば、本人の生活の質を高めることもできるし、入院医療費の削減にもつながるはずである。これまでの取り組みについて問う。

**健康福祉部長** 本市は、退院支援員及び健康管理支援員を配置し、精神科に関わらず、長期入院患者で退院が可能な方は、医療機関と連携し、退院を促す取り組みをしています。しかし、特に精神科は入院が長期になればなるほど退院して地域に戻り、定着する事例が減っている状況です。



共に生きる 一般質問

ふせ 由女

## 一般廃棄物処理基本計画について

ごみの戸別収集に伴い、ごみ袋の値上げが検討されているが、集合住宅と戸建ての整合性はどうなるのでしょうか。ふれあいサービスは従来通り利用できるのでしょうか。長期包括契約については単年度予算で担保されていることを超えた契約だが法令違反にならないのでしょうか。

**都市整備部長** 戸別収集時の集合住宅への対応は、他市同様、現在の収集方法を考えています。また、ふれあい収集については、今後も継続していきます。最後に、柳泉園組合のクリーンポート長期包括委託については、債務負担行為自体、違法性はないものと認識しています。



## 学校教育について

安倍総理夫人である昭恵さんによる公立学校を否定する発言は、日夜公立学校で奮闘している教員に対する侮辱です。教育勅語を復活させる教育方針にも疑念を持ちます。本市

の見解と、本市での学力テストについての実施状況、またその結果の活用状況について伺います。

**教育部参事** 清瀬市教育委員会としては、公教育は法に基づいて行われていると認識しています。学力調査は、小学校4年生から中学校3年生まで連続して受けることになっています。この調査の結果を分析し、指導改善のための重要な資料として活用しています。

## 歩道の点字ブロックについて

志木街道の歩道の点字ブロックによる危険な状況について、市民からの情報はありますか。東京都への要請はして頂けたでしょうか。

秋津駅から明治薬科大学への道路の歩道の点字ブロックは途中で切れています。先へ進めず立ち往生していた方がいましたが、**都市整備部長** 志木街道の点字ブロック上での事故についての情報は、ありませんでした。また、秋津駅からの点字ブロックについては、当時歩道を整備した際に、全盲など視覚障害のある方々の要望により、駅と公共施設を結ぶ区間に設置しました。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 友野ひろ子

### 平成29年度より始まる「新学習指導要領案」について

現行の学習指導要領に続き「生きる力の育成」を掲げ、これを実現するために知識や技能、思考力、判断力、表現力、学びの意欲や人間性をバランスよく養うことを目指すとある。これまでの改訂との違いと、学校や子どもたちにとっては、より厳しいものになるのかについてを伺う。  
**教育部参事** 今回の改訂の特徴を端的に言い表すと、資質、能力の育成がポイントと言えます。しかし、学び手である子どもの主体性を重視した学習のあり方は、これまで求められてきた姿です。本来あるべき姿を具体的に示したのが、新しい学習要領だと思えます。

### 高齢者の短時間見守り等社会貢献の参加について

報道によると、近年、家族における世代間関係が注目されている。祖父母世代の子育てに対するお手伝いがある。祖父母の役割が、子育て世代のワークライフバランスの一役を担っている。幼児子育て期の家族の代わりが注目されている。システム

化を考えられないかを伺う。

**子ども家庭部長** 本市が実施しているファミリーサポートセンター事業が役割を担っていると思われ。地域の中で、困ったときにお子さんを預かるシステムです。依頼会員と提供会員から構成され、提供会員のほとんどが中高年、高齢者の方々に支えられている事業です。



### コンビニエンスストアとの移動販売の推進について

高齢化が進んでいる。日々の食生活を含めて、身のまわりの品物を常に用意して生活しなければならぬ。移動販売が注目されている。セブンイレブンジャパンがそれである。千葉県や川崎市など、利用者は着実に増えているそうである。検討してみてはどうかを伺う。

**市民生活部長** 2月に、本市は地域活性化包括連携協定を、セブンイレブンと結びました。今後継続的に協議を進めていく中で、移動販売事業を含めた買い物弱者対策を、実施してもらえないか、話してみたいと思っております。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 森田 正英

### 生産緑地 2022年問題の対策について

1992年から30年を経過する2022年以降多くの生産緑地は買取り申し出が可能となり、指定を解除された農地が宅地として大量に不動産市場に流れ込むと懸念される。一方、人口減少社会において宅地の有効活用に限界があり空き地が多く発生する問題もある。都市農業、都市農地が市民に欠かせない要素として捉えるなら生産緑地を精査し計画的な買取等、都市農地の保全活用や、具体的な方策に取組むべきと考える。

**市民生活部長** 市内の生産緑地面積約174haのうち70haは、納税猶予制度の適用を受けています。全ての農地が転用されるとは考えづらいですが、買い取りの申し出は想定されます。公共施設の活用も検討しつつ、農業委員会と連携を図り、農地を守っていきたくと考えています。

### 業務改善

#### ①働き方改革について

過労自殺問題など背景に、長時間労働の更正へ民間での取り組みが加速している。首都圏の自治体でも長

時間労働の更正に加え、柔軟な勤務時間のあり方等、職員の生活と仕事の両立に知恵を絞る中、対応を伺う。  
**総務部長** 職員の時間外勤務縮減は、原則毎週金曜日をノー残業デーとし、定時退庁を推進しています。また柔軟な働き方としての時差出勤や、テレワーク等については、市民サービスの低下や十分なセキュリティ対策を講じる必要があり、導入には十分な研究が必要と考えています。

#### ②内部統制について

総務省は地方自治体の職員による不正会計や、情報漏洩等を防ぐ体制づくりを、自治体の首長に義務付ける地方自治法改正案を提出し、2019年度以降の施行を目指しているが対応を伺う。

**総務部長** 地方自治体における内部統制は、人々の生活を支える各分野での行政サービスの確、公正に執行する上で大変重要と考えています。地方自治法の改正により示された内容を基軸とし、適正な行政運営に資せるかを検討し、内部統制の制度化に適切に対応したいと考えています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。





## 清瀬自民クラブ 一般質問

### 粕谷いさむ

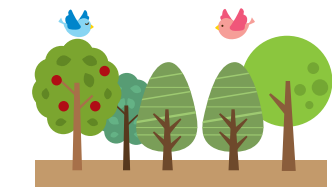
#### 雑木の公有地化と 自然環境について

農地の宅地化などにより自然環境が年々変化する現在において、大切な緑を保全し、清瀬の伝統的な武蔵野の原風景を後世に伝え残していくことが必要である。積極的な公有地化を図り、同時に緑や花に対する市民の慈しみの心を育むことが大切であると考えるが、本市の見解を伺う。

いる。幅員が狭い上に車道との段差が多いため、切り下げ傾斜も急で、歩行者や自転車の通行に大変危険が伴う。是非改良して頂きたい。

**都市整備部長** 当該道路の歩道は、昭和40年頃に整備されたもので、現在の歩道に比べると幅員も狭く、車道との段差もあります。これについては、道路全体の改良が必要になることから、今後の道路整備時に合わせて、バリアフリー化を検討します。

#### 学習支援・生活困窮者 支援事業について



市有林は本市の大切な財産です。その財産である緑を次世代に引き継ぐため、今後も地元の環境団体やボランティアの方たちと市民協働による維持管理の継続や、積極的な購入を出来る限り検討していきたいと考えています。

#### 車道と歩道の整備と 安全対策について

安全対策については適時対応されているようだが、旭が丘交番から下宿地域市民センターまでの歩道は危険な状態のまま40年以上が経過して

生活困窮家庭の子どもを対象に、学習支援や学ぶことのできる場を提供する支援事業が開始されたが、事業受託者の選定に当たって応募者はどれくらいあったのか。また主な事業内容と今後の取り組みについて伺う。

**健康福祉部長** 本事業は7者から応募がありました。内容は小学5年生から中学3年生に、学習支援や、家庭訪問による相談を通して、高校等への進学及び中途退学防止、卒業に向けた支援を実施。今後は、子どもと保護者双方の社会的自立を促し、貧困の連鎖を防ぐよう取り組みます。



## 清瀬自民クラブ 一般質問

### 渋谷けいし

#### コミュニティプラザひまわりの 公共交通アクセスの改善を

コミュニティプラザひまわりは、最寄りバス停から距離が遠く、高齢者、乳幼児連れの方等から改善要望が多く聞かれる。公共交通アクセスの改善は、利便性の向上はもちろん、施設稼働率の向上にも寄与することから早期に改善が必要と考えるが今後の改善策について見解を伺う。

**都市整備部長** 既存のバス路線の中で、新たなバス停を交差点付近に増設いたします。交通管理者や路線バス事業者と調整が終了し、おおむね協議が調いましたので、ダイヤ改正の8月に合わせて整備、工事を進めます。

#### 市民ニーズを反映した 各種健(検)診日の設定を



健康推進事業や乳幼児健診等一部の健診において実施日が特定曜日、時間帯に限定されており、利用しづらいという声を聞く。市民ニーズを的確に把握し、現役就労世代等と市民が利用しやすい実施日を設定する

ことで受診率の向上にもつながり、ひいては本市の掲げる健康都市の実現につながるかと考えるが見解を伺う。

**健康福祉部長** 乳幼児健診関係は、小児科の医師、歯科医師を初め、多くの専門職のスタッフを擁しているため、かなり日にちが限定される状況です。しかし、本市の事業である以上、市民の声を聞くことは大切ですので、今後、訪問等を通じて要望等を聞いてみたいと考えています。

#### 公共施設を市民の身近な 防災拠点にできないか

大規模災害の発生に備え、市民防災力の向上、自主防災組織の育成と並行し市民に身近な公共施設へ救助救急資機材や防火資機材を配備し、地域の防災拠点とすることで、防災・減災力がより向上すると考えるが見解を伺う。

**総務部長** 地域防災力強化の観点から、自主防災組織と学校避難所運営協議会を設立し、公共施設を指定避難所と位置づけ、避難生活対策を進めてきました。更に今後、一般市民等も十分応急対応で活用できる救助資機材置き場の整備に努めていきます。



清瀬自民クラブ 一般質問

## 中村 清治

### 清瀬市公立小中学校の教育水準の向上について

清瀬市の農地の宅地化による市民の市内移動や新住民を迎えた中での理由は様々あるが子育てしやすい、子どもがのびのびと育てられる環境の充実が最初に直面することであり、続いて小学校の学習状況や中学校では学習力やスポーツの充実等、教師の力も試される。学校の状況を伺う。

#### 教育部参事

本市の小中学校はよくなっているという評価をいただいています。中学校の学習状況は都の平均と同程度です。教員は真面目によく努力しています。この状況に満足せず、更なる指導力の向上をめざし、質の高い学校教育の提供により本市を選んでいただけると考えています。

### 重要有形民俗文化財清瀬のうちおりの国指定について

清瀬のうちおりは明治時代から昭和20年終戦後まもなくまで養蚕が盛んだった清瀬市や周辺の人々が自家用として用いた着物と布地で、くずまゆや賃機かひばたの残糸を仕立てた着物やキレ等、当時の生活様式が判る貴重な資料である。この程、受賞された

が、早期の報告会等予定を伺う。

#### 教育部長

この度、国の重要有形民俗文化財に指定されました。多くの市民の皆様の熱意によるものであり、関わった皆様に改めて感謝申し上げます。今後は教育や貴重な文化として多くの方に見ていただきたいと考えており、まずは今年の10月に企画展を開催する予定です。

### けやき通りの低木化について

この問題は、けやきが成長するにしたがって、問題が大きくなり、これまで中途半端な手入れであったと感じてきました。幾度となく、問題提起してきましたが、今回、これまでに以上に低木化されました。今後、けやき通りの並木と共にどの様な樹形を考えているのかを伺います。

#### 都市整備部長

この度のけやきの剪定は、1本1本時間をかけ、それぞれのけやきの状況を確認しながら、一回り樹形を小さくするものです。歩道を通行する方々からも、お褒めの言葉も多くいただきました。残りのけやきも同様に剪定を実施していく予定です。



日本共産党 一般質問

## 佐々木あつ子

### 国保税の値上げはやめよ

清瀬市の国保税は、収入の1割を占める世帯も少なくありません。

市は、2018年度に国保税の基礎算定を変え、値上げを考えています。国保会計は、黒字で推移しています。今までと同様に一般会計から繰り入れ、新たな負担増は行うべきではありません。

#### 市民生活部長

保険税算定方法の見直しに関しては、一般会計からの赤字繰入金状況、課税限度額の法定額とのかけ離れた状況など幾つか抱えている課題があります。各市の状況も参考にしながら、国民健康保険運営協議会の中で、具体的に検討したいと考えています。

### びみ有料袋の値上げはやめよ

本市は、現在のごみ集積所から戸別収集に切り替え、ごみの減量化を促進したいとしています。収集への委託料が増えるためごみ有料袋を値上げする考えも示しています。

ごみの量は、この10年間で1日・一人当たりでは100g減らし、諸経費

も減らしています。

有料袋の値上げは行うべきではありません。

#### 都市整備部長

指定収集袋の手数料の見直しは、平成13年に有料化を開始して以来、ごみ処理単価の上昇などがありましたが、15年間見直しをしていませんでした。平成29年度は、将来実施を予定している戸別収集などを含め、ごみ減量等推進審議会の中で審議していただく予定です。

### 道徳の教科化について

2018年度から小学校の道徳の授業が教科として始まります。

今年度は、教科書の採択が行われますが、他の教科書と同様に教員や市民の意見を反映させることを求めます。

#### 教育長

道徳の教科書については、校長と教員による専門的な視点からの調査・研究を行い、図書館で教科書展示会を開催し、市民の意見をアンケートで把握します。このように本市では教員の調査・研究結果、市民の意見等を十分に参考にし、採択が行われるシステムになっています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。





日本共産党

一般質問

深沢まさ子

### 子育て支援策拡充のため 事業の継続を

新年度予算案では都の補助金を活用し、保育士の処遇改善として、宿舍借り上げ事業や認可外保育施設・認証保育所の保護者負担が軽減されます。

3年～4年の期限付きの事業になっていますが、その後の事業の継続を本市として行うことを求めます。

**市長** 保育園の宿舍借り上げ支援や認可外保育施設、認証保育所の利用者助成事業については、本市単独事業として実施するためには、多額の財源が必要のため、東京都の補助金が交付されるまでの期間とさせていただきます。

### 木造住宅の耐震化を 促進するため助成の拡充を

現在の制度では、耐震化の強度を示す上部構造評点を1・0以上に引き上げる改修のみ助成対象となっています。

他市では、経費を抑えられる0・7以上の工事や、バリアフリーとセットにした改修も対象にしています。本市でも検討すべきです。

都市整備部長 木

造住宅の耐震化は、地震に強い住宅にすることが目的であるため、簡易耐震の助成は考えていません。また、バリアフリー改修については、別途



助成制度があることから、そちらを活用いただければと考えています。

### 待機者の実態を把握し 特養ホームの増設を

認知症高齢者の増加や老々介護の実態など家族介護は限界を迎えています。

小平市では、100人規模の特養ホームを含め、今後、新たに4ヶ所の特養ホームが整備される予定です。

清瀬市でも実態を把握し、特養ホームの増設を求めます。

**高齢福祉担当部長** 待機者の実態に

ついては、国の調査と、本市の第7期事業計画策定に向けた調査アンケートを実施していますので、今後検証していきます。特別養護老人ホームの増設は、総合的に判断し、難しい状況ですが、さまざまな情報を集めて、継続課題と考えています。



日本共産党

一般質問

山崎 美和

### 義務教育の自己負担軽減 就学援助制度拡充を

無償が原則の義務教育で、高額な自己負担は深刻な問題です。平成30年から入学準備金の2月先行支給に踏み切った、市の努力に感謝します。

入学準備金は2万円ほどしか給付されず、実費には遠く及びません。入学準備金の増額やクラブ活動費補助を追加するなど、拡充を求めます。



**教育部長** 新入学児童生徒学用品費

については、国の補助額改定に合わせ、小学1年生は4万6百円、中学1年生は4万7千400円に増額して支給する予定です。また、就学援助制度の費目の拡大については、現時点においては考えていません。

### シルバー人材で働く高齢者に 最低賃金同等金額を

シルバー人材センターは配分金の制度で、最低賃金保障の範疇外です。目的が生きがい等となっていますが、実は、経済的余裕がなくなり、生活のための副業として働く高齢者が多くいます。

清瀬市が委託する事業については、毎年10月の最低賃金改定を見越した配分金設定で契約をして、シルバーで働く高齢者に最低賃金同等の金額を保障するよう求めます。

**高齢福祉担当部長** シルバー人材センターは公共団体等から請負や、委託契約により仕事を受注し、会員として登録した高齢者から適任者を選び、仕事を遂行します。年度当初の契約により、シルバー人材センターに支払っているため、最低賃金の改正とは直接リンクしていません。

### 市立第6保育園廃園は 撤回を

1歳児の待機児童が一次募集で33人と深刻。第6保育園の廃園は待機児童解消に逆行します。3歳で再び待機児童になる「3歳の壁」対策としても、6保育園は撤回すべきです。

**子ども家庭部長** 第6保育園は、調理室が手狭な上、老朽化が進み、大規模な改修が必要になってきています。このようなか、第6保育園の南側に認可保育園の開設が予定され、廃園することになりました。3歳の壁は幼稚園のバックアップで、待機児童の解消に期待しています。

\*印は、16ページに用語の解説があります。

# 平成29年第1回定例会 可決・承認・同意した 主な議案

## ▼平成28年度清瀬市一般会計補正予算(第6号) 歳入の主なもの

- ① 小学校2校(第四小・第六小)の校舎規模改造事業及び小学校特別教室の空調整備事業について、国の補正予算に伴う国庫補助金を活用して実施するため、国庫支出金2億3千451万4千円、都支出金1千167万5千円、市債6億5千700万円をそれぞれ増額です。
- ② まちづくり応援寄附金120万円の増額です。
- ③ 財政調整基金繰入金4千136万5千円の増額です。

## 歳出の主なもの

- ① まちづくり応援基金積立金に120万円の増額です。
- ② 民生費では、給付費の増加等に伴う後期高齢者医療特別会計への繰入金3千112万5千円、利用者の増加に伴う子育てクーポン事業92万9千円をそれぞれ増額です。
- ③ 教育費では、第四小・第六小の校舎大規模改造事業として8億3千50万円、小学校特別教室の空調整備事業として8千500万円をそれぞれ増額し、事業費の全額を次年度に繰越明許して実施します。

## ▼平成29年度清瀬市一般会計補正予算(第1号)

- ① 故伊藤ヨシ様より遺贈された公園用地(中里五丁目1-1内)を活用しやすい形状に整

えるため、隣接地(面積約1千152㎡)の買収等に係る費用(1億1千220万9千円)及び緑地保全基金(3千881万4千円)の増額です。

この公園整備の財源に充てるため、故伊藤ヨシ様より遺贈いただいた土地(中里五丁目637-1、面積1千676㎡)の売却による財産収入(1億5千251万6千円)の増額です。

- ② コミュニティプラザびまわり利用者の利便性向上のため、バスベイの整備費用(1千280万円)を増額し、財源として公共施設整備基金から全額を繰り入れます。

## ▼清瀬市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例

### 改正の理由

消費税率10%段階への引上げを平成29年4月1日に実施される前提で、すでに行われた条例改正について、時期の延期に伴い、軽自動車税の環境性能割の創設の延期及び、法人住民税の法人税割に係る税率等を現行のまま維持させるとともに、新たに変更の時期を平成31年10月1日に改めるための条例整備を行いました。

## ▼清瀬市まちづくり応援寄附条例の一部を改正する条例

### 改正の理由

ふるさと納税制度を活用した寄附制度の項目として、新たに本市の結核療養に関する尊い歴史を多くの方に知っていただき、市の魅力として発信していく取り組みを推進するため「結核医療と清瀬の尊い歴史の広報等に関する事業」を対象事業に追加するための条例整備を行いました。

この条例の施行日は、平成29年4月1日です。

## ▼清瀬市立公園条例の一部を改正する条例

### 改正の理由

「野塩一丁目児童遊園」(野塩一丁目440番27・明治薬科大学南西側、面積約23㎡)を都市公園以外の公園(児童遊園)に加えるための条例整備を行いました。

この条例の施行日は、平成29年4月1日です。

## ▼清瀬市道の路線の廃止について

### 廃止の理由

公共の交通に供していないため  
・廃止路線名(位置)  
清瀬市道3177号線(野塩四丁目交差点北側)

## ▼清瀬市道の路線の認定について

### 認定の理由

宅地開発に伴う無償譲渡の受け入れによる  
・認定路線名(位置)  
清瀬市道3412号線(明治薬科大学の南西側)

## ▼清瀬市教育委員会委員の任命について

教育委員会委員に次の方を任命する議案が市長より提出され、議会はこれに同意しました。

教育委員 兵頭 扶美枝



\*印は、16ページに用語の解説があります。



# 提出された議案等の結果

第1回定例会(3月)で審議された議案等の結果

(○：賛成 ×：反対)

市長提出議案							
番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
議案第1号	平成29年度清瀬市一般会計予算	○	×	○	○	×	可決
議案第2号	平成29年度清瀬市国民健康保険事業特別会計予算	○	○	○	○	×	可決
議案第3号	平成29年度清瀬市下水道事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
議案第4号	平成29年度清瀬市駐車場事業特別会計予算	○	○	○	○	○	可決
議案第5号	平成29年度清瀬市介護保険特別会計予算	○	×	○	○	×	可決
議案第6号	平成29年度清瀬市後期高齢者医療特別会計予算	○	×	○	○	×	可決
議案第7号	平成28年度清瀬市一般会計補正予算(第6号)	○	○	○	○	○	可決
議案第8号	平成28年度清瀬市下水道事業特別会計補正予算(第3号)	○	○	○	○	○	可決
議案第9号	平成28年度清瀬市後期高齢者医療特別会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	可決
議案第10号	清瀬市職員の勤務時間、休日及び休暇等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第11号	清瀬市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第12号	清瀬市市税条例等の一部を改正する条例の一部を改正する条例	○	×	○	○	×	可決
議案第13号	清瀬市まちづくり応援寄附条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第14号	清瀬市立公園条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決
議案第15号	清瀬市道の路線の廃止について	○	○	○	○	○	承認
議案第16号	清瀬市道の路線の認定について	○	○	○	○	○	承認
議案第17号	清瀬市教育委員会委員の任命について	投票による					同意
議案第18号	平成28年度清瀬市一般会計補正予算(第7号)	○	○	○	○	○	可決
議案第19号	平成29年度清瀬市一般会計補正予算(第1号)	○	○	○	○	○	可決
議案第20号	清瀬市市税条例の一部を改正する条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	可決

議員提出議案							
番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
議案第1号	清瀬市議会委員会条例の一部を改正する条例	—	—	—	—	—	継続審査
議案第2号	UR都市機構団地に安心して住み続けるために「家賃の減免」条項の実施を求める意見書	×	○	×	○	○	否決
議案第3号	共謀罪法案(組織犯罪処罰法改定案)の国会提出に反対する意見書	×	○	×	○3 × 1	○	否決
議案第4号	南スーダンからの自衛隊の撤退を求める意見書	×	○	×	○2 × 2	○	否決
議案第5号	駅ホームドア整備促進の強化等を求める意見書	×	○	×	○	○	否決
議案第6号	都営住宅の新規建設等を求める意見書	×	○	×	○	○	否決
議案第7号	国際基準を踏まえた労働時間の規制を求める意見書	×	○	×	○	○	否決

請願・陳情							
番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
請願第1号	福島原発事故による県民健康調査を縮小することなく今後も継続していくよう福島県に求める請願	×	○	×	○	○	不採択
陳情第1号	コミュニティプラザひまわりへの路線バスの乗り入れを求める陳情	×	○	×	○2 × 2	○	不採択
陳情第2号	陳情 市費で給食費の一部を負担すること	×	○	×	○2 × 2	○	不採択
陳情第3号	精神障害者も心身障害者医療費助成制度(マル障)の対象とすることについての陳情	×	○	×	○	○	不採択
陳情第4号	「共謀罪(テロ等準備罪)」に反対する意見書の提出を求める陳情	×	○	×	○3 × 1	○	不採択

報告							
番号	件名	自民クラブ	日本共産党	公明党	風・ネット	共に生きる	議決結果
報告第1号	平成29年度清瀬市土地開発公社事業計画及び予算について	—	—	—	—	—	了承

※表中の会派の名称及び議員名

自民クラブ=清瀬自民クラブ(渋谷けいし・森田正英・粕谷いさむ・友野ひろ子・中村清治・斉藤正彦 6人)

日本共産党(山崎美和・深沢まさ子・原田ひろみ・佐々木あつ子 4人)

公明党(鈴木たかし・斉藤あき子・西上ただし・西畑春政 4人)

風・ネット=風・生活者ネット(小西みか・宮原りえ・石川秀樹・斉藤実 4人)

共に生きる(ふせ由女 1人)

※( )内の数字は、会派所属議員数を示したものです。ただし、清瀬自民クラブについては、渋谷のぶゆき議長を除いた人数です。

# 市議会日誌

- 2・15 柳泉園組合議会第1回代表者会議
- 16 多摩六都科学館組合議会第1回定例会
- 17 多摩北部都市広域行政圏協議会第2回審議会
- 21 東京都市議会議長会定例総会
- 22 柳泉園組合議会第1回定例会
- 24 昭和病院企業団議会第1回定例会
- 28 本会議(初日)
- 3・2 本会議(代表・一般質問)
- 3 本会議(一般質問)
- 6 本会議(一般質問)
- 8 予算特別委員会
- 9 予算特別委員会
- 10 予算特別委員会
- 14 総務文教常任委員会
- 15 福祉保健常任委員会
- 16 建設環境常任委員会

- 27 本会議(最終日)
- 20 議会運営委員会
- 19 建設環境常任委員会
- 16 福祉保健常任委員会
- 14 総務文教常任委員会
- 13 本会議(一般質問)
- 12 本会議(一般質問)
- 12 本会議(一般質問)
- 6・8 本会議(初日)
- 28 各派代表者会議
- 22 議会運営委員会
- 28 本会議(最終日)
- 4・17 各派代表者会議
- 20 議会運営委員会
- 20 柳泉園組合議会第1回臨時会
- 25 柳泉園組合議会第83回定期総会
- 28 新庁舎建設特別委員会

## 第2回定例会の 開会予定

平成29年清瀬市議会第2回定例会を6月8日(木)から6月27日(火)まで、会期20日間にわたり開会する予定です。

### ◇日程(案)

6・8 本会議(初日)

12 本会議(一般質問)

13 本会議(一般質問)

14 本会議(一般質問)

16 総務文教常任委員会

19 福祉保健常任委員会

20 建設環境常任委員会

27 本会議(最終日)

### \*手話通訳者での傍聴ができます\*

希望される方は事前(7日前まで)に申し込みが必要です。  
詳しくは議会事務局へ下記FAX番号宛てにお問い合わせください。

## 用語の解説

- \*SDGs(持続可能な開発目標)…「地球上の誰一人として取り残さない」を理念とし、貧困を撲滅し、持続可能な社会を実現するため国連サミットで採択された2030年までの国際目標。
- \*ダブルケア…子育てと親の介護が同時期に発生する状態。少子化・高齢化によりケアの複合化・多重化が問題となっている。
- \*フレンドルーム(適応指導教室)…清瀬市内の公立小・中学校の児童・生徒のなかで、集団生活や学校生活になじめず、登校できないでいる子どもたちに、外出の機会や活動の場、人とのふれあいの場を提供する場所。
- \*フリースクール…何らかの理由から学校に行くことができない、行かない、行き

たくても行けない子どもたちが、小・中・高校の代わりに過ごす学びの場。

\*ホームエデュケーション…家を中心に学ぶという意味で、学校ではなく家庭を中心にして子どもを成長させる選択。

\*アイデアソン…アイデアを発想・創出するためのワークショップ。オープンデータを有効活用するために欠かせない「地域視点」と「ビジネス感覚」から生まれるアイデアを募ることを目的に開催されている。

\*ハッカソン…ある特定のテーマに興味や問題意識を持つ人々が集まって、お互いにアイデアを出し合いながら、協力してアプリケーションやサービスを実際に開発し、成果を競うイベントの一種。

\*テレワーク…情報通信技術(ICT)を活用した場所や時間にとらわれない柔軟な働き方。

\*賃機…機屋(機を織ることを職業とする家)から糸を借り、賃仕事として機を回ること。

\*請負…発注元がある仕事の完成を依頼し、受注側が実際に完成物、成果物を納品して、通常はその結果に対して報酬が支払われる契約。

\*委託…発注者が依頼した業務を受注者が行う契約。完成物や成果物を渡す義務はない。

\*バスベイ…乗降のためのバス専用の停車スペース。十分な幅のない道路で、スムーズな車の流れや乗客の安全を確保できる。



市議会の会議録は市のホームページでご覧いただけます。

清瀬市議会事務局

清瀬市中里 5-842 TEL (042) 497-2566(直通) FAX (042) 495-1189

清瀬市ホームページ <http://www.city.kiyose.lg.jp/>



問い合わせ